

研究課題番号 2018-064 「がん患者における生体分子の発現と投与薬物の代謝・

生体応答に関する研究」付随研究 04 質量分析インフォマティクスを活用した

多層オミクス解析によるがんの本態解明と新規バイオマーカーの探索

1. 研究の対象

研究課題番号 2018-064 「がん患者における生体分子の発現と投与薬物の代謝・生体応答に関する研究」に参加され検体の二次利用に同意された方。

2. 研究の意義

従来の生体分子・代謝解析は、複雑ながん微小環境の解明には不向きだとされています。本研究では、がん組織の異なる部分の情報を区別した上で、次世代シーケンシングによるゲノム・遺伝子の情報と、質量分析による生体分子・代謝及びドラッグデリバリーの情報を同時に取得し、従来にない複合解析を行うができるようになります。

3. 研究目的・方法

臨床検体を用いて、質量分析と次世代シーケンシングを併用した多層生体分子・代謝解析を行います。さらに、質量分析インフォマティクス手法を確立させ、がんの本態解明と診断治療の標的と成り得る新たなバイオマーカーを探索します。研究実施期間は研究許可日から 2029 年 3 月 31 日までです。

4. 研究に用いる試料・検体情報の種類

本研究は、すでに採取されたがん患者由来の検体を用いて研究を行います。新たに検体を採取することはありません。本研究で使用する患者情報は、病名、ゲノム・遺伝子情報等です。本研究で収集した検体及び情報は、本研究の研究目的と相当の関連性のある別研究に将来的に利用する可能性があります。

5. 外部への試料・情報の提供

共同研究先へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

6. 解析結果に対する遺伝子カウンセリング

本研究での解析結果については、がんの研究が目的となっており、原則的に情報開示・遺伝子カウンセリングは予定しておりません。

7. 研究組織

研究責任者・代表者

国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬開発分野 安永 正浩

研究事務局

国立がん研究センター東病院 先端医療科 小金丸 茂博

共同研究機関

東京大学

理化学研究所

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問などがありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。また、検体・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター 新薬開発分野 安永 正浩

TEL: 04-7133-1111/ FAX: 04-7134-6928

研究責任者：

●国立がん研究センター東病院

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター 新薬開発分野 安永 正浩

TEL: 04-7133-1111/ FAX: 04-7134-6928

●東京大学

〒153-0041 千葉県柏市柏の葉 5-1-5

東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカル情報生命専攻生命システム観測分野

鈴木 穰

TEL : 04-7136-3607

●理化学研究所

〒565-0874 大阪府吹田市古江台 6-2-3

理化学研究所 生命機能科学研究センター 清水 義宏

TEL : 06-6872-1885